

第Ⅱ章 大気汚染物質濃度の状況

(余 白)

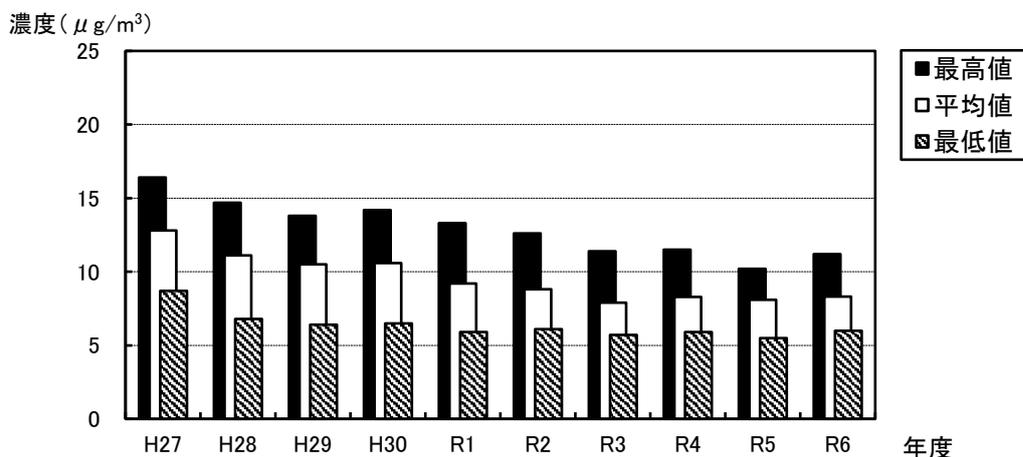
第1節 微小粒子状物質（PM_{2.5}）

微小粒子状物質 （PM _{2.5} ）	大気中に浮遊する粒子状物質であって、特に粒径が小さいものをいう。 具体的には粒径が2.5μmの粒子を50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいう。 （環境大気常時監視マニュアル第6版より）
発 生 源	PM _{2.5} は、発生源から直接排出される一次粒子と、大気中での光化学反応等によりガス成分（VOC、NO _x 、SO _x ）から生成される二次粒子に分類される。 PM _{2.5} の発生源は、自然起源と人為起源に分類される。 （環境影響評価法に基づく基本的事項等に関する技術検討委員会第6回の資料より）
環 境 濃 度	年平均値を全局平均で見ると、一般環境大気測定局49局で8.3μg/m ³ 、自動車排出ガス測定局22局で8.7μg/m ³ であった。 令和6年度の環境基準の達成状況については、一般環境大気測定局では全49局、自動車排出ガス測定局では全22局で達成した。
測 定 機 の 仕 様	米国EPAの連邦標準測定法（Federal Reference Method, FRM）に準じたフィルタ捕集-質量法を採用している。しかし、標準測定法は、労力がかかることに加え、得られる測定値が1日平均値のみであり、かつ、秤量のため測定結果を得るまでに最短でも数日を要することから、常時監視には、標準測定法であるフィルタ捕集-質量法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められた自動測定機が用いられている。
測 定 方 法	ベータ線吸収法、フィルタ振動法、光散乱法のいずれかによる行う。なお、各測定局で使用されているのは、ベータ線吸収法のみである。
ベータ線吸収法	ろ紙に捕集された粒子状物質の質量の増加によって、ベータ線吸収量が増加することを利用した測定方法である。
フィルタ振動法	円錐状の秤量素子に捕集された粒子状物質の質量の増加によって振動数が増加することを利用した測定方法である。
光散乱法	試料大気に光を照射し、その散乱光の強度を測定することにより、微小粒子状物質の質量濃度を算出する方法である。

1. 2 PM_{2.5}濃度の推移（年平均値）

(1) 一般環境大気測定局

一般環境大気測定局の局別年平均値から求めた全局の最高値、最低値、平均値を図及び表に示す。

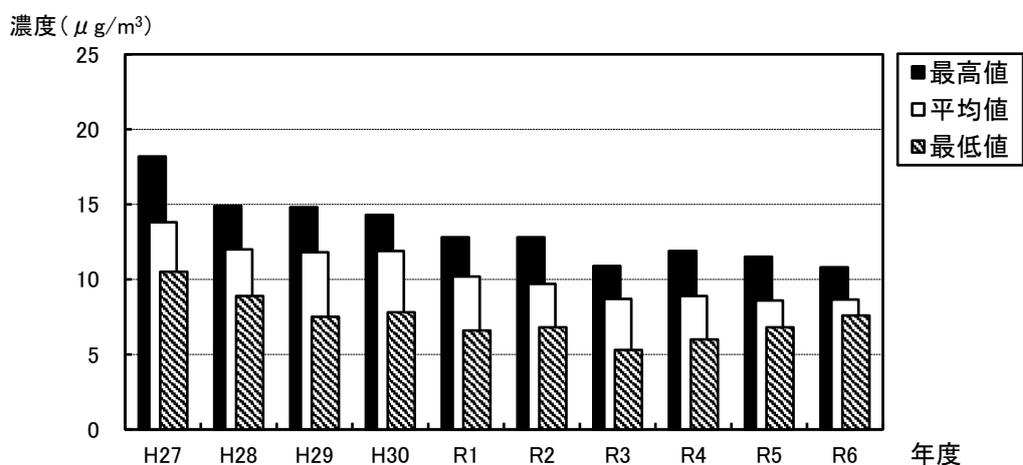


(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
最高値	16.4	14.7	13.8	14.2	13.3	12.6	11.4	11.5	10.2	11.2
最低値	8.7	6.8	6.4	6.5	5.9	6.1	5.7	5.9	5.5	6.0
平均値	12.8	11.1	10.5	10.6	9.2	8.8	7.9	8.3	8.1	8.3
測定局数	44	44	45	46	46	45	47	48	49	49

(2) 自動車排出ガス測定局

自動車排出ガス測定局の局別年平均値から求めた全局の最高値、最低値、平均値を図及び表に示す。



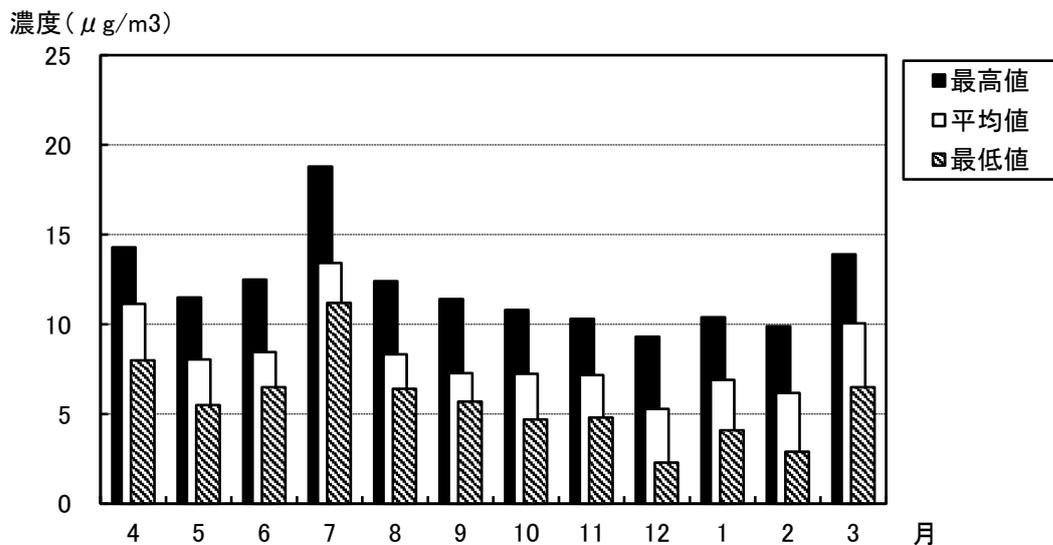
(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
最高値	18.2	14.9	14.8	14.3	12.8	12.8	10.9	11.9	11.5	10.8
最低値	10.5	8.9	7.5	7.8	6.6	6.8	5.3	6.0	6.8	7.6
平均値	13.8	12.0	11.8	11.9	10.2	9.7	8.7	8.9	8.6	8.7
測定局数	19	20	21	21	22	21	22	22	22	22

1. 3 PM_{2.5}の月別濃度（月平均値）

(1) 一般環境大気測定局

一般環境大気測定局の局別月平均値から求めた全局の最高値、最低値、平均値を図及び表に示す。

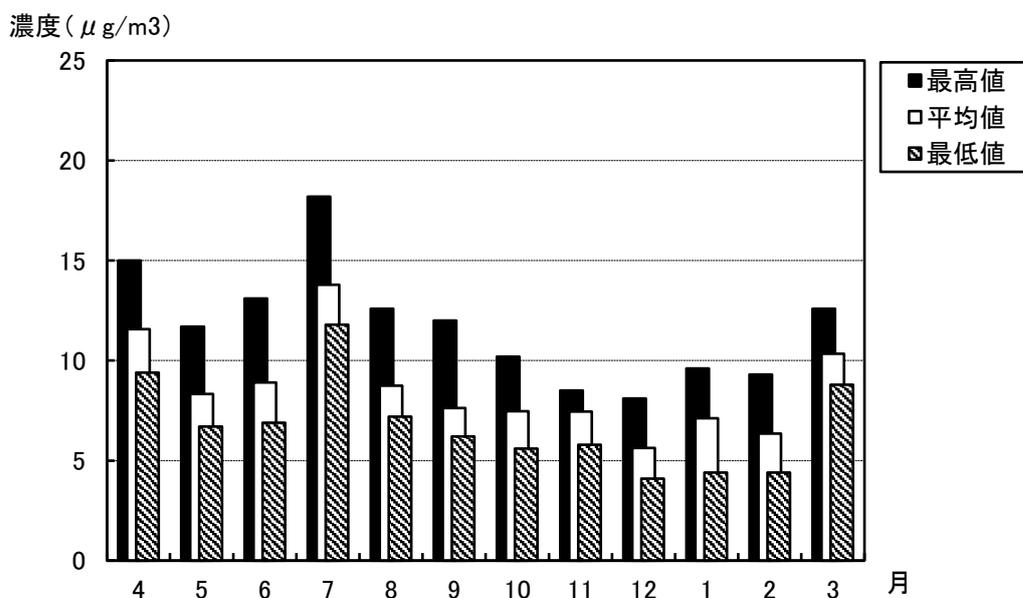


(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最 高 値	14.3	11.5	12.5	18.8	12.4	11.4	10.8	10.3	9.3	10.4	9.9	13.9
最 低 値	8.0	5.5	6.5	11.2	6.4	5.7	4.7	4.8	2.3	4.1	2.9	6.5
平 均 値	11.1	8.1	8.5	13.4	8.3	7.3	7.2	7.2	5.3	6.9	6.2	10.1

(2) 自動車排出ガス測定局

自動車排出ガス測定局の局別月平均値から求めた全局の最高値、最低値、平均値を図及び表に示す。



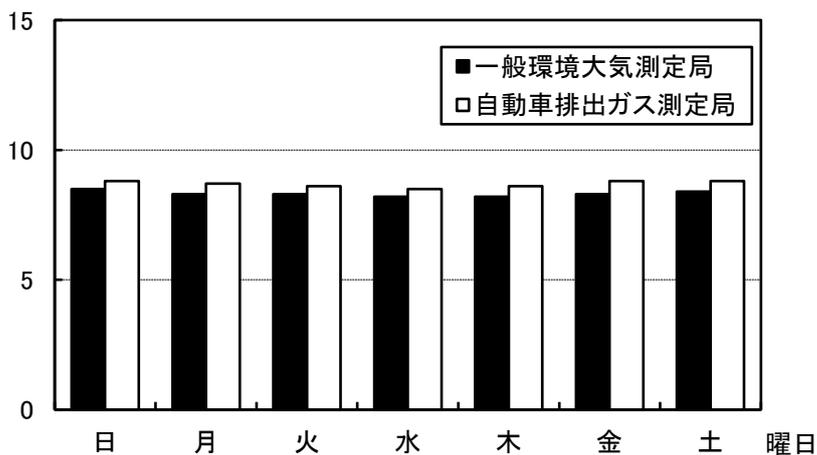
(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最 高 値	15.0	11.7	13.1	18.2	12.6	12.0	10.2	8.5	8.1	9.6	9.3	12.6
最 低 値	9.4	6.7	6.9	11.8	7.2	6.2	5.6	5.8	4.1	4.4	4.4	8.8
平 均 値	11.6	8.3	8.9	13.8	8.7	7.6	7.5	7.5	5.6	7.1	6.3	10.3

1. 4 PM_{2.5}の曜日別濃度（年平均値）

年間測定結果から曜日別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局別の全局平均値を図及び表に示す。

濃度(μg/m³)



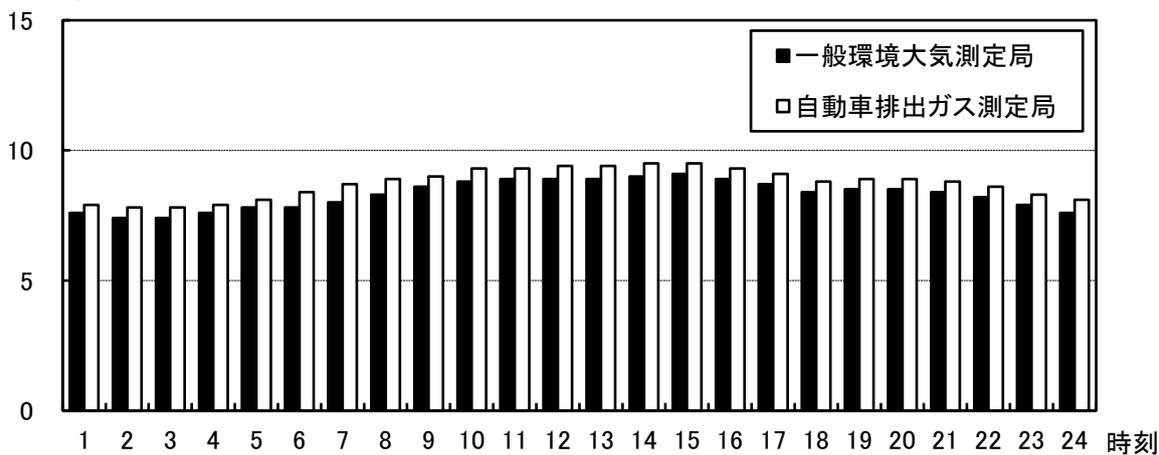
(単位: μg/m³)

曜日	日	月	火	水	木	金	土
一般環境大気測定局	8.5	8.3	8.3	8.2	8.2	8.3	8.4
自動車排出ガス測定局	8.8	8.7	8.6	8.5	8.6	8.8	8.8

1. 5 PM_{2.5}の時刻別濃度（年平均値）

年間測定結果から時刻別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局別の全局平均値を図及び表に示す。

濃度(μg/m³)



(単位: μg/m³)

時刻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一般環境大気測定局	7.6	7.4	7.4	7.6	7.8	7.8	8.0	8.3	8.6	8.8	8.9	8.9
自動車排出ガス測定局	7.9	7.8	7.8	7.9	8.1	8.4	8.7	8.9	9.0	9.3	9.3	9.4

時刻	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
一般環境大気測定局	8.9	9.0	9.1	8.9	8.7	8.4	8.5	8.5	8.4	8.2	7.9	7.6
自動車排出ガス測定局	9.4	9.5	9.5	9.3	9.1	8.8	8.9	8.9	8.8	8.6	8.3	8.1

1. 6 PM_{2.5}濃度の測定局順位（日平均値の年間98%値）

各測定局における日平均値の年間98%値（環境基準の評価濃度）の順位を次に示す。

一般環境大気測定局

順位	局名	年間98%値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
1	泉区和泉中央北	27.6
2	磯子区磯子	26.4
3	鶴見区本町通	25.1
4	国設川崎（田島）	24.8
5	川崎市役所第3庁舎	24.2
6	瀬谷区南瀬谷	23.8
7	神奈川区広台太田町	23.5
8	相模原市役所	23.4
9	西区平沼	23.3
10	川崎区役所大師支所仮庁舎	23.2
11	厚木市中町	22.9
12	相模原市相模台	22.7
13	港北区大豆戸町 幸スポーツセンター	22.6
15	青葉区市ケ尾町 愛川町角田	22.2
17	大和市役所	21.9
18	保土ヶ谷区桜ヶ丘 平塚市旭小学校	21.5
20	中原区地域みまもり支援センター	21.4
	寒川町役場	21.4
22	麻生区弘法松公園	21.3
23	海老名市役所	21.0
24	藤沢市明治市民センター	20.8
25	横須賀市追浜行政センター	20.7
26	横須賀市久里浜行政センター 藤沢市御所見小学校	20.5
	秦野市役所	20.5
29	相模原市津久井	20.4
30	都筑区茅ヶ崎中央 横須賀市西行政センター	20.3
	平塚市大野公民館	20.3
33	小田原市役所	20.0
34	中区本牧大里町	19.9
35	鎌倉市役所	19.8
36	高津区生活文化会館 宮前平小学校	19.7
	三浦市城山	19.7
39	藤沢市役所	19.5
40	多摩区登戸小学校 藤沢市湘南台小学校	19.3
	横須賀市池上コミュニティセンター	19.1
43	旭区鶴ヶ峰 南足柄市生駒	19.0
45	金沢区富岡東	18.6
46	港南区野庭町	18.5
47	南区南太田	18.4
48	栄区犬山町	18.3
49	緑区三保町	16.9

自動車排出ガス測定局

順位	局名	年間98%値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
-	川崎市役所前	(29.2)
1	西区浅間町	26.8
2	青葉区しらとり台	26.7
3	戸塚区戸塚町	25.2
4	麻生区柿生	22.7
5	相模原市上溝	22.5
6	川崎区池上新田公園前	22.3
7	川崎区日進町	22.2
8	厚木市金田	22.0
9	高津区二子	21.4
10	宮前平駅前	21.1
11	中原平和公園	21.0
12	藤沢橋 川崎区富士見公園	20.8
14	相模原市古淵 厚木市水引	20.8
	茅ヶ崎駅前交差点	20.8
	多摩区本村橋	20.7
18	横須賀市小川町交差点	20.6
19	伊勢原市谷戸岡	20.4
20	大和市深見台交差点	20.2
21	秦野市本町	19.1
22	鎌倉市岡本	19.0

（ ）内数値は、年間における測定時間が6000時間に満たない測定値を示す。